

# わろうて

～わかやまろうさい病院からのおてがみ～

2013年  
1月15日  
第36号  
Vol.12 No.3

## 謹賀新年！

和歌山ろうさい病院 病院長 南條 輝志男



平成25年・癸巳（みずのと・み）の年頭に当たり、謹んで初春のお慶びを申し上げます。

昨年は迷走する政治の中、なかなか捗らない震災復興とどん底の経済状況などで混迷の日本に希望と勇気を与えてくれたのが、何と云っても山中伸弥教授のノーベル医学生理学賞のご受賞と、ロンドン五輪で史上最多のメダルを獲得した、アスリート達の大活躍でした。特に私にとりましては、山中伸弥教授が高校の後輩で以前より面識があったことと、ロンドン五輪の体操で大活躍された田中三兄弟（和仁・理恵・佑典選手）が和歌山労災病院で産声を上げられ、近隣の和歌山県立北高等学校で学ばれたこと等で、慶びも感動もひとしおでした。田中理恵選手には、本年9月28日(土)に当院が主催する「女性医療フォーラム」において是非ともご講演いただきたい旨お願いしておりますので、その折には皆様も奮ってご参加下さい。

さて、和歌山労災病院の昨年を振り返りますと、大変充実した一年であったと思います。経営状況は玉置哲也前病院長時代の好調を維持できたことと、3月には念願の県災害医療拠点病院に指定され、それに伴って大災害に備えてのハード・ソフト両面での拡充計画が順調に進捗していること等が挙げられます。これらは、全職員が一致団結して、同じ目標に向かって邁進して下さった賜物であり、ここに全職員は勿論のこと、外から支えて下さった地域住民の皆様にも深謝申し上げます。また、この勢いで、大災害に対応可能な病院としてのハード面での整備と、かつ新機能の拡充を可能にするための新棟建築の実現に向けて邁進したいと考えています。これは非常に高いハードルですが、皆様のご支援を得て、今年の第一目標に位置付け、全力で頑張る所存です。また、当院は常に地域密着型の、皆様に信頼され、愛され続ける病院を目指し、職員一同精進致しますので、本年も変わらぬご支援の程、宜しくお願い申し上げます。

再度、干支（えと）のお話に戻りますが、「癸（みずのと）」は十干の10番目で揆（はかる）に連がり、植物の内部にできた種子が大きさを測れるまで大きくなった状態として10番目に当てられたそうです。「巳（み）」は十二支の6番目で、原字は頭と体が出来かけた胎児を描いたもので、子宮が胎児を包む様を表しているそうです。いずれも、新しい生命の誕生を予感させるものであり、当院にとりまして、大きく発展する年となりますよう、また、皆様におかれましても明るいニュースに満ち溢れたご多幸の年になりますことを祈念申し上げます。



日本医療機能評価機構認定病院  
地域医療支援病院

独立行政法人 労働者健康福祉機構

## 和歌山ろうさい病院

〒640-8505 和歌山市木ノ本93-1 TEL.073-451-3181(代)

FAX.073-452-7171(代)・073-451-3788

(医療連携センター専用FAX)

ホームページ <http://www.wakayamah.rofuku.go.jp/> E-mail [info@wakayamah.rofuku.go.jp](mailto:info@wakayamah.rofuku.go.jp)

和歌山労災病院の理念

地域の人々と勤労者に、地域医療機関と密接に連携しつつ、安全に十分配慮した先端的医療を提供する

# 新任医師紹介



小川 幸志  
(麻酔科)

以前より非常勤で週1回お手伝いさせていたのですが、今回部長として採用になりました。「仕事は楽しく」がモットーです。



宮本 紗江  
(消化器内科)

少しでも皆様のお役にたてるように頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。



石亀 昌幸  
(内科)

大きな病院ですので、科、職域をこえてお付き合いができればと思います。



玉井 英伸  
(整形外科)

整形外科の玉井 英伸です。患者さんに寄り添える医療を実践していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

## トピックス

### 「和歌山市災害医療に関する実地訓練」について

南海トラフ連動型地震発生時に備えた大規模な災害訓練（和歌山市災害医療に関する実地訓練）が10月21日(日)、災害拠点病院である当院を拠点として行われ、当院の職員他約450人が参加し、災害時における多くの傷病者に対して、非常時においても機能的に医療を提供する体制を整えることを第一に考え、「命を助ける」を目的に参加機関（警察・消防・市医師会・市薬剤師会、河西田村病院他）が連携して行われました。

午前10時に地震発生を知らせる放送が流れ、次々に運ばれてくる模擬傷病者（看護学生が協力）に対してトリアージ（災害が発生すると同時に重症のけが人が多数出ます。そのような時、けが人の重症度・緊急度を考慮して、救出・治療・搬送の優先順位を決めること）を実施、その後、迅速に各治療ゾーンへ搬送されるという本番を想定した訓練に、

参加した職員は真剣に取り組んでいました。

訓練後に行われた「振り返り（反省検討会）」では、各責任者から貴重な意見や検討課題が報告され、今後の防災力向上に役立てることを確認し無事訓練を終了しました。



総務課 庶務係長 小谷 芳弘

# 「かかりつけ医」のご紹介 No.35

和歌山労災病院との「病診連携システム」に参加されている「かかりつけ医」の先生方をシリーズでご紹介しています。

## 紀伊クリニック

- 診療科目 内科 外科 整形外科  
リハビリテーション科 放射線科
- 住所 〒649-6339 和歌山県和歌山市宇田森275-10
- 電話 073-461-8888



やまの まさひろ  
山野 雅弘 先生

山野雅弘先生は、介護老人保健施設『紀伊の里』に併設する『紀伊クリニック』の施設長として、開業以来、患者様の“家庭復帰”を目指し患者様の一生涯を見守ることをモットーにご活躍されています。

医療と福祉を統合したサービスを提供されており、退所後に家庭に戻った後でもケアを継続するため、短期入所療養介護や通所リハビリテーション、訪問看護ステーションといった居宅支援サービスも行っています。

介護老人保健施設との併設クリニックであるため、認知症患者様のケアにも対応し、力をいれておられます。山野雅弘先生を筆頭とした医師、看護師、理学療法士、作業療法士、介護職員からなるチームの力で、患者様とご家族の生活を支えています。作業療法の一環として、月に1度僧侶お2人が講話に来られる「和顔合掌の会」の開催や、社会復帰を目的に地域の様々なイベントにも参加するなど、新しい試みにも積極的に取り組んでおられます。

また、和歌山労災病院にて行っている「休日サポートセンター（和歌山県医師会の開業医の方々の協力による休日救急外来診療）」にも、山野雅弘先生にはいち早くご協力をいただいております。平時から災害発生に備えスムーズな医療の連携を地域の皆様に提供できるように活躍されております。今後、地域医療連携を図る上で、和歌山労災病院が欠かせない重要な連携医療機関（パートナー）のおひとりです。



# 消化器内科

私たち消化器内科は腹部に生じる様々な病気の診療を行っています。

現在部長の原と安田、三田、宮本、内視鏡センター長の垣本の5人体制で診療に従事しています。診療の両輪として肝炎、特にC型肝炎の治療と消化管疾患の内視鏡的治療があげられます。肝炎治療はC型慢性肝炎、肝硬変に対するインターフェロン治療を積極的に行っており、最近7年間で100人以上のかたが半年から1年半の長いインターフェロン療法を終えられ、さらに半年後の効果判定にまで到達されています。1型高ウイルス量のかたで51%（今年から保険適応となった3者併用は除く）、2高ウイルス量では91%、さらに低ウイルス量のかたでは100%の治癒率であり、全国レベルの成績です。B型慢性肝炎に対しては核酸アナログ製剤を用い良好な治療成績が得られています。肝癌は外科手術、エタノール注入療法、経カテーテル的肝動脈化学塞栓術等の治療を行い、3cm未満、3個以内の例では5年生存率73.7%とほぼ全国レベルの成績でした。内視鏡治療は本年より内視鏡センター長に就任した垣本を中心に、センター長経験者の倉橋、有井両医師、和歌山医大から山下医師に応援を依頼して行っています。内視鏡検査は昨年度では上部2304件、下部1508件で、内視鏡的治療としては消化管出血の内視鏡的止血術35件、胃癌の内視鏡的治療21件、食道静脈瘤治療16件、内視鏡的逆行性胆管膵管造影43件、総胆管結石除去術30件、大腸ポリープ粘膜切除術224件等件数は多く、良好な成績をあげています。その他難病である潰瘍性大腸炎、クローン病の治療件数も多く、5-A S A製剤、血球成分除去療法、ステロイド、免疫調節剤、インフリキシマブ、アダリムマブ等の内科的治療を中心に外科手術も含め種々の治療方法を駆使して治療にあたっています。その他切除不能進行癌の化学療法、緩和医療チームと協力しての緩和医療、急性疾患である急性膵炎、胆嚢炎、腹膜炎、腸閉塞等への救急対応も行っています。以上現在の消化器内科の診療についての概要を記しました。今後はさらに各消化器部門に高度な専門技術を持った医師を充実させ、患者さまがたのさらなる期待にこたえられるよういっそう努力していく所存ですので、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

## 診療科医師紹介

### 原 猛 消化器内科部長

和歌山県立医科大学卒  
日本内科学会認定医  
日本消化器病学会認定専門医  
日本消化器内視鏡学会専門医  
日本肝臓学会専門医  
日本内科学会認定教育施設指導医  
日本医師会認定産業医  
医学博士

### 安田 祐子 第2消化器内科部長

和歌山県立医科大学卒  
日本医師会認定産業医  
日本消化器内視鏡学会専門医  
日本職業災害医学会労災補償指導医  
医学博士

### 垣本 哲宏 第3消化器内科部長・内視鏡センター長

和歌山県立医科大学卒  
日本内科学会総合内科専門医  
日本消化器病学会認定専門医  
日本糖尿病学会認定専門医  
日本消化器内視鏡学会専門医  
日本医師会認定産業医

### 三田 真理子 消化器内科医師

和歌山県立医科大学卒  
日本内科学会認定内科医

### 宮本 紗江 消化器内科医師

和歌山県立医科大学卒  
日本内科学会認定内科医

## 病院からのお知らせ

平成24年度 和歌山労災病院市民公開講座の開催について

### 講演

### 「介護予防について」

—認知障害にならないために—

講師

ケアヴィラ伊丹 副施設長

十河 すみ子 先生



平成24年11月21日(水)午前11時より、院内2階大会議室にて市民公開講座が開催されました。当日には、約60名の参加者が訪れました。

講師の十河 すみ子先生による、冗談を交えた明るいトークに、会場は大いに盛り上がりました。特に、認知症予防のための予防運動を会場で実践した際には、講師と来場者が一緒に歌を歌いながら難しい動作を行い、ぎこちない動きになってしまう方が相次ぎ、会場が笑いに包まれました。約一時間の講演もあっという間に過ぎてしまうほどに、非常に充実した内容の講演となりました。



予防運動について語る十河すみ子先生



会場の様子

# 和歌山ろうさい病院 (外来診療科担当医一覧表)

平成 25 年 1 月 1 日現在

診療科	ブロック	診察室	月	火	水	木	金
内 科	A	①番	山本 康久	石亀 昌幸	山本 康久	石亀 昌幸	山本 康久
		②番	中尾 隆太郎	増井 由毅	中尾 隆太郎	原田 沙耶	増井 由毅
		③番	—	南條 輝志男	—	—	—
		⑪番	石本 進士	石本 進士	休 診	石本 進士	石本 進士
		⑬番	—	中山 宣昭		中山 宣昭	—
		⑩番	阪口 臨	栗本 美和	当番医	栗本 美和 (午前)	阪口 臨
		⑤番	細 隆信	細 隆信		阪口 臨 (午後)	—
		⑥番	辰田 仁美	庄野 剛史	藤田 篤代	細 隆信	庄野 剛史
		⑧番	大河内 啓史	当番医	玉置 真也	辰田 仁美	玉置 真也
		⑨番	新患診	—	林 泰	当番医	九鬼 新太郎
		⑫番	寺田 友昭	新谷 亜紀	西尾 はるひ	—	当番医
		⑬番	岡田 秀雄	当番医	寺田 友昭	当番医	岡田 秀雄
		⑭番	戸村 九月	—	新谷 亜紀	—	河野 健一
		救急待機	当番医	当番医	吉村 良	—	田中 優子
⑮番	—	前部屋 進自	—	当番医	当番医		
女性専用外来 [完全予約制]	A D	午後 【予約制】	第1・2・3・4週 婦人科・乳腺外来 藤野 久仁子	第2週 婦人科外来 柳川 百世	第1・2・3・4週 総合(漢方)外来 辰田 仁美	第1週 乳腺・肛門外来 浦 希木子	—
		A7番	—	第4週 婦人科外来 笠野 有里	第1週 漢方外来 松本 朋子	第2・3・5週 乳腺外来 田中 由美	—
		D12番	—	—	—	第4週 漢方外来 神人 美穂子	—
消化器内科	B	①番	安田 祐子	原 猛	原 猛	原 猛	安田 祐子
		⑫番	三田 真理子	安田 祐子	三田 真理子	内視鏡センター診 垣本 哲宏	垣本 哲宏
		⑬番	—	—	—	—	当番医
外 科	B	⑦番	小林 康人	乳腺 落合 実	胃・大腸 落合 実	肝・胆・脾 小林 康人	上部消化管 山本 基
		⑧番	山本 基	寺澤 宏	那須 亨	那須 亨	寺澤 宏
		⑨番	—	—	—	水本 有紀	—
		⑩番	—	—	—	緩和ケア・NST外来(寺澤)	—
整形外科	B	③番	佐々木 俊二	脊椎センター診 安藤 宗治	手外科診 峠 康	スポーツ整形診 佐々木 俊二	安藤 宗治
		④番	峠 康	坂田 亮介	松本 卓二	松本 卓二	関節リウマチ診 坂田 亮介
		⑤番	当番医	福井 大輔	福井 大輔	神埜 聖治	神埜 聖治
小 児 科	C	⑨番	青柳 憲幸	檜皮谷 朋子	青柳 憲幸	青柳 憲幸	檜皮谷 朋子
		⑩番	大元 浩明	小森 有紀	檜皮谷 朋子	大元 浩明	小森 有紀
		特診⑨	小森 有紀	—	大元 浩明	青柳 憲幸	宮代 英吉 【再診のみ】
泌尿器科	C	特診⑩	大元 浩明	青柳 【予防接種】	檜皮谷 朋子	1・3週 心エコー 根来 博之	—
		①番	上門 康成	森 喬史	休 診	上門 康成	休 診
耳鼻いんこう科	C	②番	山下 真平	山下 真平	—	森 喬史	—
		⑤番	横山 道明	—	森山 智美	横山 道明	小上 真史
		⑥番	小上 真史	—	ペデル レヴェント	森山 智美	ペデル レヴェント
		⑦番	土橋 重貴	—	—	—	—
午後 予約	—	休 診	—	—	第1・3週 睡眠時無呼吸外来 当番医	—	
皮膚科	D	①番	中村 智之	休 診	中村 智之	中村 智之	中村 智之
		②番	下松 達哉		下松 達哉	下松 達哉	下松 達哉
		午後 予約	—	—	学童外来 中村 智之	—	—
産婦人科	D	⑩番	—	当番医	—	—	—
		⑫番	矢本 希夫	助産外来 (予約制)	矢本 希夫	助産外来 (予約制)	尾谷 功
		⑮番	谷本 敏	尾谷 功	藤野 久仁子	谷本 敏	藤野 久仁子
眼 科	D	午後 予約	—	—	—	谷本 敏	—
		⑤番	大川 記羊美	大川 記羊美	大川 記羊美	休 診	大川 記羊美
		⑥番	当番医	当番医	当番医		当番医
午後 予約	—	—	—	—	—	第1・3・5週 コンタクト(予約)	
リハビリテーション科	D	1診	松本 朋子	松本 朋子	松本 朋子	松本 朋子	松本 朋子
放射線科	D	2診	当番医	峠 康	—	—	—
		1診	三谷 康幸	三谷 康幸	三谷 康幸	三谷 康幸	三谷 康幸
専門外来	D	2診	塩谷 健	塩谷 健	塩谷 健	塩谷 健	塩谷 健
		健診センター 【予約制】	禁煙外来 庄野 剛史	禁煙外来・肥満・ストレス外来 山本 康久	—	禁煙外来・肥満・ストレス外来 山本 康久	—

(注1)

- 小児科は、予約者を対象に午後から専門外来を行っています。
- 耳鼻いんこう科の毎週火曜日、泌尿器科の毎週水・金(再診)曜日、眼科の毎週木曜日は手術のため休診です。
- 母親教室は、毎週木曜日の14時～16時です。(予約制)
- 助産師外来は、毎週火曜・木曜の9時～15時です。(予約制)
- 耳鼻いんこう科の木曜日の午後の診察時間は、13時～15時です。
- 糖尿病教室は、週1回の開催です。開催日については、内科外来までお問い合わせください。
- 女性専用外来・専門外来は、完全予約制となっております。
- お申込みは、勤労者医療総合センター直通番号(451-3303)までお申し込みください。
- 各診療科の専門外来については、病院代表番号(451-3181)を通じて各専門外来までお問い合わせください。

(注2)

- セカンドオピニオン外来の詳細については、患者サポートセンター 地域医療連携室直通番号(451-3186)までお問い合わせください。

※紹介状をお持ちの際は、必ず診療予約をして頂きますようお願いいたします。

《診療予約をせずにご来院されますと、担当医師が対応できない場合があります、また対応可能な場合でも、待ち時間がかなり発生いたしますので、前もっての診療予約をお願いいたします》

【予約専用電話】 073-451-3186